

# 脱炭素化の推進に関する取り組みの方向性

## (脱炭素化に向けた2030年度目標)



### 「ゼロカーボン」を取り巻く動向

**国・政府** 2020年10月『2050年カーボンニュートラル宣言』  
2030年度における温室効果ガス排出量46%削減(2013年度比)、さらに50%削減への挑戦、  
2050年度にカーボンニュートラルを実現

**北海道** 2021年3月『ゼロカーボン北海道宣言(2050年)』  
2030年度における温室効果ガス排出量48%削減(2013年度比)

**苫小牧市** ●2021年8月『苫小牧市ゼロカーボンシティ宣言』  
2050年までに二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の実質排出量ゼロへの挑戦  
●2022年3月『苫小牧市第4次環境基本計画(第1期ゼロカーボン推進計画)』  
市・事業者・市民が連携したゼロカーボン推進(2023~2030年度)への取り組み  
●2023年3月『苫小牧港カーボンニュートラルレポート(CNP)形成計画』  
苫小牧港(西港・東港及びその周辺)を対象として、2030年度に温室効果ガス排出量  
48%削減(2013年度比)、2050年カーボンニュートラル(ゼロカーボン)を目標設定



### 弊社の取り組みの方向性

- 2022年4月策定のサステナビリティ経営方針において、マテリアリティ(重点領域)の一つとして「脱炭素化の推進」を掲げております
- 国、北海道、苫小牧市の動向などを含め、「ゼロカーボン」をテーマとした事業環境の大きな変化の中で、「持続可能な地域・社会への貢献」と「経済価値の創出」の両立のために2030年度・2050年度に向けて継続的に脱炭素化への取り組みを推進していきます

### 弊社のCO<sub>2</sub>排出量の現状

#### 総排出量:2022年度

主な事業所のうち、現状では苫小牧西港フェリーターミナルビル(略称:FTビル)におけるCO<sub>2</sub>排出量が大部分を占めております



■事務所別CO<sub>2</sub>排出量内訳(2022年度)

#### 2022年度総排出量の2013年度との対比

2013年度対比では2022年度において弊社全体にて約60%(本社ビル:91%、FTビル:10%)のCO<sub>2</sub>排出量の削減を達成しております

- 本社ビル 2018年の新社屋への建替えによりCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減
- FTビル 2010年度より取り組んだ照明設備のLED化によりCO<sub>2</sub>排出量を削減

### 今後の方針・2030年度目標

#### 方針

さらなる脱炭素化の推進に向けて、削減余地の大きいFTビルのCO<sub>2</sub>排出量削減に優先的に取り組むものとし、ソフト面では、日常の節電など省エネルギー対策の継続、ハード面では、FTビルの設備改修時等における省エネ技術の積極的導入などの検討に加え、地域全体の脱炭素化に向けて、面的な連携・貢献を図っていきます

#### 排出量削減目標

弊社全体におけるCO<sub>2</sub>排出量を2030年度において、2013年度比約70%削減(FTビルにおけるCO<sub>2</sub>排出量48%以上削減)に向けた取り組みを進めていきます

#### BCPの高度化

特に気候変動対策が停滞した場合には、既に顕在化している気候変動などのさらなる激化や海面上昇などの物理的リスクがより高まる可能性があるため、ハード・ソフト両面におけるBCPの継続的な高度化を図っていきます



# 脱炭素化に向けた施策



2030年度の目標達成に向けて、弊社では「再生可能エネルギーを軸とした排出量の低減」と「地域脱炭素化に向けた面的な連携・貢献」の2つを軸として、さまざまな取り組みを行ってまいります。

## 1 再生可能エネルギーを軸とした排出量の低減

再生可能エネルギーの効率的な運用などにより、自社の活動及びサービスの実施にかかる温室効果ガス排出量の低減を図ってまいります。また、モビリティの電化(BEV化)を通じ、自社の排出量を継続的に削減してまいります。



### 脱炭素エネルギーの確保

社有地での再生可能エネルギー(太陽光発電など)の運用に関する検討を行います。また、船舶への脱炭素エネルギー供給についても情報収集を行い、船会社の動向に合わせた対応を検討してまいります。



### 電気自動車への普及対応

弊社では本社ビル及びFTビルに電気自動車をはじめとしたエコカーを導入しております。今後も普及状況に応じたEVステーションの設置などについて検討してまいります。



### 自社の温室効果ガス排出量削減策

FTビルでは2010年度より照明設備のLED化により、CO<sub>2</sub>排出量を削減しています。今後も設備更新に応じた省エネ技術の積極的導入などを検討してまいります。

## 2 地域脱炭素化に向けた面的な連携・貢献

行政やステークホルダーとの定期的・継続的な対話により、地域の脱炭素化に向け、協動的に取り組みを進めてまいります。

### 苫小牧市を含めた 周辺地域における再生可能 エネルギー導入

苫小牧地域における再生可能エネルギーの導入に関して協動的に取り組む、地域における再生可能エネルギー供給実現に寄与してまいります。

### 苫小牧港 カーボンニュートラルポート (CNP)形成

苫小牧港の脱炭素化の推進に向け、苫小牧港港湾脱炭素化推進協議会ならびに苫小牧港CNP形成計画のロードマップに合わせた取り組みを行います。

### 船舶の リプレースに対する 取り組み

今後の脱炭素燃料への転換などを含む船舶のリプレースに関して、船会社と情報共有のうえ、受け入れ態勢などの検討を行います。